



2016年度(第59回)日経・経済図書文化賞

ジェネラル・パーパス・テクノロジーのイノベーション -- 半導体レーザーの技術進化の日米比較

清水 洋(一橋大学准教授) / 著

A 5判上製カバー付, 380 ページ
定価 4,752 円(本体 4,400 円) ISBN 978-4-641-16469-7

さまざまな技術・製品に応用できる汎用性の高い技術=ジェネラル・パーパス・テクノロジーは、どのように生み出され進化していくのか。そのイノベーションのパターンにスピニングアウトがどのような影響を及ぼすのか、日米半導体レーザーの発展プロセスから明らかにする。



2016年度(第23期)国際ビジネス研究学会 学会賞(単行本の部)

製品開発の現地化 -- デンソーに見る本社組織の変化と知識連携

金 熙珍(東北大学准教授) / 著

A 5判上製カバー付, 292 ページ
定価 4,536 円(本体 4,200 円) ISBN 978-4-641-16466-6

販売・生産までグローバル化できても、製品開発でつまずく日本企業がなぜ多いのか。問題を本社組織に見出し、進出先拠点の分析に偏る既存研究に一石を投じる。世界的自動車部品メーカーのデンソーを主要事例に、多国籍企業としてより進化するため喫緊の課題に挑む。



2015年度経営学史学会賞・著書部門

現場の情報化 -- IT 利用実践の組織論的研究

松嶋 登(神戸大学教授) / 著

A 5判上製カバー付, 402 ページ
定価 5,400 円(本体 5,000 円) ISBN 978-4-641-16459-8

経営の情報化は、仕事実践や他者との協働をどう変化させるか。また研究者は、その実践にいかに関与するか。周密な先行研究レビューと、実践との接続を意識した現場リサーチにより、情報経営研究の学問的アイデンティティの探求を通じて、経営学の立脚点を問い直す意欲作。



2016年日本商業学会優秀賞

小売企業の基盤強化

-- 流通パワーシフトにおける関係と組織の再編

高嶋克義(神戸大学教授) / 著

A 5判上製カバー付, 230 ページ
定価 3,780 円(本体 3,500 円) ISBN 978-4-641-16462-8

小売企業が力をもってきている現象を指す流通パワーシフトについて、初めて本格的にその姿を検証する待望作。小売企業がいかに仕入先との関係を構築・管理し、組織体制を強化しているかを解明して、その基盤強化が小売企業へのパワーシフトを促している実態を追究。



2016年(第2回)日本防衛学会猪木正道賞(正賞)

崩壊国家と国際安全保障 -- ソマリアにみる新たな国家像の誕生

遠藤 貢(東京大学教授) / 著

A 5判上製カバー付, 294 ページ
定価 4,428 円(本体 4,100 円) ISBN 978-4-641-14913-7

中央政府は存在せず、「崩壊国家」と呼ばれながらも、国内外のさまざまな作用によって、機能しているソマリア。その実態を、歴史的背景、国内の論理、そして国際社会の関与といった多様な視点から明らかにするとともに、今後の国家のあり方を再考する。





非常時対応の社会科学 -- 法学と経済学の共同の試み

齊藤 誠 (一橋大学教授)・野田 博 (中央大学教授) / 編

A 5判並製カバー付, 444 ページ
定価 4,212 円 (本体 3,900 円) ISBN 978-4-641-16471-0

災害時の備えが存在していたにもかかわらず、それらが十分に活かされなかった東日本大震災。事前にどのような合意形成を行えば、非常時の行動規範を確立できるのか？ 同じ失敗を繰り返さないために、法学者と経済学者、研究者と実務家が対話を重ね、得られた知見とは。



再考・医療費適正化 -- 実証分析と理念に基づく政策案

印南一路 (慶應義塾大学教授, 中央社会保険医療協議会委員, 医療経済研究機構研究部長) / 編著

A 5判並製カバー付, 300 ページ 定価 3,888 円 (本体 3,600 円) ISBN 978-4-641-16483-3

高齢化は医療費増加の主因ではない？ 病床数を減らしても医療費は下がらない？ 精緻な分析から医療費増加の最大の要因を突き止め、これまでの政策を評価したうえで、医療費抑制策とは一線を画す、医療保障のあるべき姿に基づいた医療費政策を提示。



学力・心理・家庭環境の経済分析

-- 全国小中学生の追跡調査から見えてきたもの

赤林英夫 (慶應義塾大学教授), 直井道生 (慶應義塾大学准教授), 敷島千鶴 (帝京大学教授) / 編著

A 5判並製カバー付, 274 ページ 定価 3,348 円 (本体 3,100 円) ISBN 978-4-641-16473-4

いま、所得格差の拡大や子どもの貧困、教育機会の不平等を通じた世代間の格差の固定化への懸念が広がっている。子どもの「学び」や「こころ」に影響を与えているものは何か？ 追跡調査から得た豊富なデータを駆使して、その実態解明に挑む。



少子化は止められるか？ -- 政策課題と今後のあり方

阿部正浩 (中央大学教授) / 編著

四六判上製カバー付, 174 ページ 定価 2,160 円 (本体 2,000 円) ISBN 978-4-641-16472-7

高齢化は医療費増加の主因ではない？ 病床数を減らしても医療費は下がらない？ さまざまな対策が実施されているにもかかわらず、少子化が止まらない日本社会。政府や企業、地方自治体によって行われてきた少子化対策について、主に経済学の視点からその有効性と問題点を検証し、持続的社會を実現するために必要な施策を提示する。



地域ブランディングの論理 -- 食文化資源を活用した地域多様性の創出

小林 哲 (大阪市立大学准教授) / 著

A 5判上製カバー付, 388 ページ 定価 4,536 円 (本体 4,200 円) ISBN 978-4-641-16480-2

あきたこまち、仙台牛たん焼き、関あじ等、地域活性化策として注目を集める地域ブランディングについて、ビジネス・ブランディングの理論を援用しながら、その本質に迫る。食文化資源を活用した事例を多数取り上げ、地域ブランディングにおける食文化資源の有効性も明らかにしている。



グローバル化とショック波及の経済学

-- 地方自治体・企業・個人の対応

小川 光 (東京大学教授) / 編

A 5判並製カバー付, 228 ページ 定価 2,808 円 (本体 2,600 円) ISBN 978-4-641-16485-7

グローバル化の進展に伴って、経済危機や災害のショックが、国境を越えて波及する。こうしたショック波及に対する自治体・企業・家計の対応を、長期財政データ、国際比較、金融危機や自然災害の事例分析を通じて明らかにし、日本の今後の望ましい政策を探る。



FTA・TPP の政治学 -- 貿易自由化と安全保障・社会保障

大矢根 聡 (同志社大学教授), 大西 裕 (神戸大学教授) / 編

A 5判並製カバー付, 292 ページ 定価 4,104 円 (本体 3,800 円) ISBN 978-4-641-14915-1

なぜ各国は高度な貿易自由化を追求するのだろうか。また、その進め方に違いが見られるのはなぜか。アジア太平洋地域の主要国を取り上げ、経済的利益以外の要因 (安全保障や社会保障) にも留意して、政治学の観点から分析し、日本を軸とする2国間関係も検討する。



人・組織の「しあわせ」を究める

組織のなかで人を育てる -- 企業内人材育成とキャリア形成の方法

佐藤 厚 (法政大学教授) / 著

四六判並製カバー付, 280 ページ
定価 2,592 円 (本体 2,400 円)
ISBN 978-4-641-16475-8

さまざまな外部環境の変化のなかで、企業競争力の向上や個人のキャリア発達に欠かせない「人材育成」をどのように行うべきなのか。企業へのインタビュー調査や先行研究の分析を通じて、個人と組織が共に学びながら成長を遂げていくことの重要性を明らかにする。



ボランティアを生み出すもの -- 利他の計量社会学

三谷はるよ (龍谷大学講師) / 著

A5 判上製カバー付, 220 ページ
定価 3,780 円 (本体 3,500 円) ISBN 978-4-641-17427-6

「どのような人が、なぜボランティアになるのか？」
——本書はこのシンプルな問いを精緻に探究したものである。
立て続けに大災害が起り、いまやボランティアの活動は日本社会に欠かすことができない。これまで光の当たらなかった「ボランティアの担い手」を生み出すメカニズムについて、計量的なアプローチから明らかにしていく意欲作。



マクロ実践ソーシャルワークの 新パラダイム

-- エビデンスに基づく支援環境開発アプローチ
~ 精神保健福祉への適用例から ~

大島 巖 (日本社会事業大学学長) / 著

A5 判並製カバー付, 354 ページ
定価 3,996 円 (本体 3,700 円) ISBN 978-4-641-17415-3

ソーシャルワーカーが社会のニーズに応えるための、有効で確かな支援方法論とは何か。実践家・当事者参画型の「プログラム開発と評価」が有用であることを示し、精神保健福祉領域の取組みを適用例として、具体的なアプローチ法を提示する意欲作。



合理的配慮 -- 対話を開く、対話が拓く

川島 聡 (岡山理科大学准教授), 飯野由里子 (東京大学研究員),
西倉実季 (和歌山大学准教授), 星加良司 (東京大学講師) / 著

A5 判並製カバー付, 268 ページ
定価 2,916 円 (本体 2,700 円) ISBN 978-4-641-17422-1

障害者基本法, 障害者差別解消法, 障害者雇用促進法により法制化された, 障害者に対する「合理的配慮」。この新しい概念は, 障害分野を超えて「共生の技法」となる可能性を秘めている。その意義と課題を, 法学・社会学・ジェンダー研究の視点で追究する。



しあわせ 幸福の構造 -- 持続する幸福感と幸せな社会づくり

島井 哲志 (関西福祉科学大学教授) / 著

四六判並製カバー付, 276 ページ
定価 2,484 円 (本体 2,300 円) ISBN 978-4-641-17414-6

幸せを「感じる」とはどういう事か? 人によって感じ方が異なるのはなぜか? 個人の「時間軸」という切り口からみえた幸福感の構造とは? 心理学研究の実証データを基に幸福感の諸側面を整理し, 私たちは自分や周囲の人の幸福をどう実現できるのかまでを指し示す。

専門を
とことん
掘り下げる

政治変動期の圧力団体

辻中 豊 (筑波大学教授) / 編

A 5 判上製カバー付, 246 ページ
定価 3,780 円 (本体 3,500 円) ISBN 978-4-641-14918-2

2009 年総選挙で民主党は政権交代を果たしたものの、
2012 年総選挙では自民党が再び政権に復帰した。
こうした政治変動期の日本政治を、圧力団体に着目して分析し、
政治家や有権者の分析だけでは見えてこない、
社会の側のより構造的な変化を明らかにする。



福祉国家の制度と組織 -- 日本的特質の形成と展開

佐々木伯朗 (東北大学教授) / 著

A 5 判上製カバー付, 218 ページ 定価 4,428 円 (本体 4,100 円) ISBN 978-4-641-16474-1

戦後日本における財政が、なぜ他の先進国と比較して特殊な性格を帯びるに至ったのかについて、
制度派経済学に基づきながら検証。

福祉国家という視点から見た日本財政の特殊性をもたらす原因に関して、
制度に着目し、ドイツとの比較を試みつつ解明する待望作。



ジェンダーの政治経済学 -- 福祉国家・市場・家族

原 伸子 (法政大学教授) / 著

A 5 判上製カバー付, 292 ページ
定価 4,212 円 (本体 3,900 円) ISBN 978-4-641-17401-6

ベッカー「新家庭経済学」における女性労働の分析と
その後のフェミニスト経済学の発展を丹念に追い、さらに社会的ケアの理論的分析、
福祉国家におけるワーク・ライフ・バランスや家族政策等ジェンダー政策を精査。



コミュニティ・キャピタル

-- 中国・温州企業家ネットワークの繁栄と限界

西口敏宏 (一橋大学名誉教授・特任教授), 辻田素子 (龍谷大学教授) / 著

A 5 判上製カバー付, 458 ページ 定価 7,344 円 (本体 6,800 円) ISBN 978-4-641-16482-6

貧しく、学歴がなく、語学が堪能でなく、外国人である等、
決して恵まれているとはいえない 1 人 1 人でありながら、温州人が繁栄を築くことができたのはなぜか？
最新の社会ネットワーク理論と緻密な調査研究により、その社会的つながり構造と力学を明らかにする力作。



フォロワーが語るリーダーシップ -- 認められるリーダーの研究

小野善生 (滋賀大学准教授) / 著

A 5 判上製カバー付, 412 ページ
定価 6,372 円 (本体 5,900 円) ISBN 978-4-641-16487-1

学界のみならず実際の経営現場でも最重要テーマの 1 つであるリーダーシップ。
その生成はフォロワーの認知によると規定し、
3 つの定性的事例研究におけるフォロワー、リーダー双方の語りから、
両者の相互作用がリーダーシップの成立に至る内実を明らかにする。



国際特許管理の日本的展開 -- GE と東芝の提携による生成と発展

西村成弘 (関西大学教授) / 著

A 5 判上製カバー付, 340 ページ 定価 4,536 円 (本体 4,200 円) ISBN 978-4-641-16481-9

20 世紀前半に GE 社と日本企業 (東京電気, 芝浦製作所, 東芝) の間で展開された特許管理について、
日米双方の一次史料を丹念に読み解き明らかにしていく。
多国籍企業の海外進出における、特許を伴った技術移転とその管理は、両社の経営発展にどう影響したか。

酒類流通システムのダイナミズム

二宮麻里 (福岡大学准教授) / 著

A 5 判上製カバー付, 248 ページ 定価 4,536 円 (本体 4,200 円) ISBN 978-4-641-16478-9

在来産業の代表格である清酒業は、江戸期より市場を確立し、近代化を経て今日にいたっている。
産業発展には、製造者の生産力増強のみならず、消費者、および両者をつなぐ業者による市場形成が
不可欠という視点のもと、250 年にわたる酒類流通システムの変化を描出。

